

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）における 再生医療等の情報発信について

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

HEALTH DESIGN 輝き、生きる。Live Brighter



1. 開催日時

2025年6月21日(土)～6月28日(土) 10:00～19:00

2025年6月29日(日) 10:00～14:00

(「健康とウェルビーイング」テーマウィーク：2025年6月20日～7月1日)

2. 開催場所

大阪・関西万博会場内 EXPOメッセ

3. 開催概要

- ・「健康とウェルビーイング」テーマウィークと連動した、日本のウェルネス・医療の現状を紹介する展示・体験イベント。
- ・会場内は全部で11のブースで構成され、経済産業省/厚生労働省などが出展するそれぞれのブースで日本の医療の最新機器・情報の他、様々な展示の見学や体験が可能。

トピックス

① 再生・細胞医療・遺伝子治療

- ② 障害者の自立と社会参加促進を目的とした障害者向け支援機器・技術の展示
- ③ 認知症の疑似体験、認知症を正しく理解するための展示
- ④ 日本の先進的な医薬品等の情報発信
- ⑤ 介護ロボット等のテクノロジーの展示及び紹介
- ⑥ ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)に関する体験型展示
- ⑦ 個人の健康医療情報(PHR)を基に、運動・睡眠・食事などにおいて、個人に最適化されたサービスの体験
- ⑧ 最新テクノロジーを駆使した次世代医療機器等の体験



大阪・関西万博(EXPO 2025)における再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信

1. 目的

再生・細胞医療・遺伝子治療領域における我が国の取組や独自技術（研究成果）等を2025年の国際博覧会等において広く情報発信することで、研究開発を担う研究者を見出す機会の創出を行うとともに、国内外の研究者や投資家等が我が国に関心を持つ一助とすることで、本領域における我が国の更なるプレゼンス向上・産業発展を目指す。

2. 展示内容

（1）実物展示や動画で再生医療等を紹介

iPS細胞を用いて作成したミニ腸、軟骨パーティクルなどの実物を用いて再生医療についての研究成果を発信。また、再生医療に使用する3Dプリンターや実験機器の展示や、動画などを用いて再生医療の歴史等を説明。動画ではオリジナルキャラクターを用いて現在の市場動向や細胞加工物等の作製プロセスなども紹介する予定。



（2）講演や体験イベント等の実施

再生医療等の研究に関わる研究者や有識者、学生等に登壇いただき、研究内容の紹介とともに、日本の再生医療分野の研究開発の現状を紹介する。また、実際に白衣を着て写真撮影をしたり、細胞培養の体験等の体験コーナーを設置し、再生医療について親しむ機会を提供する。



白衣を着て写真撮影
（※イメージ図）



白衣を着て体験する様子
（※イメージ図）

No.	実施候補	概要
1	白衣着用体験	白衣を着て写真を撮れるコーナーを設置する。
2	製品見学・細胞観察	一般展示されている製品・製品パッケージを実際に手に取って触れる。細胞を顕微鏡で見て細胞の構造を観察する。
3	実験器具紹介	細胞培養等に使われる実験器具を展示し、細胞培養のやり方を説明する。
4	セルカウント体験	細胞の培養工程（再生医療の製品製造や大学の研究現場）を体験する。